

# あいのり

---

## Monthly

2024.10.31



PARIS MIKI ASSET MANAGEMENT

## 10月のマーケット概要

7月以降、米国の景気動向に注目が集まっておりますが、10月は失業率が4.1%と2か月連続低下、非農業部門雇用者数でも予想よりも大幅に強かったこと、消費者物価、小売売上高も強めの数字が出たため、マーケットは景気が順調に推移し、ソフトランディング或いはノーランディングも想定する程に改善しました。これにより、3.7%だった米金利が4.3%まで上昇し、それに伴い142円台だったドル円も月末には153円台まで上昇しました。

今年最大のイベントである大統領選挙を翌月に控え、10月に入ってから、トランプ当選予想の確率がハリスを上回り、マーケットはトランプの当選を想定した動き（米国株は史上最高値、金利高、ドル高、ゴールド高、仮想通貨高）となり、過去3回の大統領選挙時で見られた、大統領選挙月の前月10月の株式市場は弱いというアノミーを覆しました。トランプ氏当選の確率が高まる中、米国の財政悪化懸念からゴールドの上昇（今月+4.2%、年初来+32%）が目立ちます。米国の財政赤字と利払い負担の拡大は今後中長期的なリスク要因の可能性があると考えています。

日本につきましては、10月下旬の衆議院議員総選挙にて与党の自公が大幅に議席数を減らし過半数割れとなりました。株式市場は下落して始まったものの、今後、他政党の減税を含めた政策を実現する可能性が高まっている期待などから底堅く推移しています。日本の政治に関しても現在は長期的な転換点を迎えている可能性があります。

今後については、まずは米国の大統領選挙におけるトランプvsハリスの行方、並びに議会との組み合わせがどうなるかに注目しておりますが、イベント通過後は、例年、最もパフォーマンスの良い時期であること、来年の企業業績も成長加速が見込まれている間は基本的に押し目買いが正しい戦略と考えます。

※X（旧ツイッター）にも日頃のコメント（つぶやき）を掲載しておりますのでご参照いただければと思います。



左記のQRコードよりXアカウントにアクセスいただけます。  
パリティアセットマネジメント【公式】  
@PM\_Asset

パリティアセットマネジメント  
ファンドマネージャー  
宇野 隆一郎



## コードモファンド 変幻自在ずーっとおまかせ

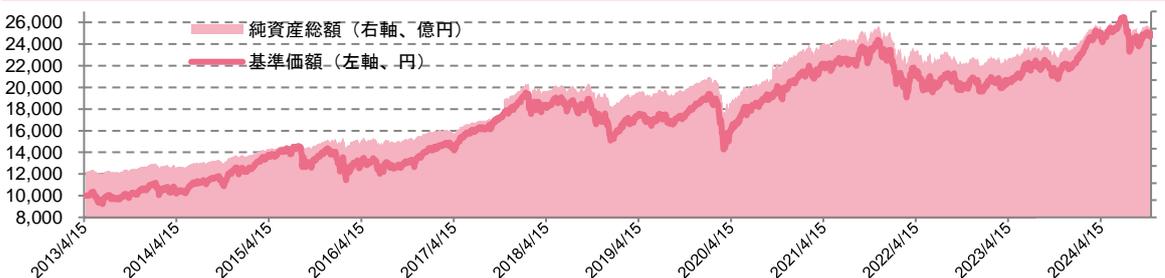
### 【10月の運用コメント】

基準価額は月間で+0.95%となり、年初来で+12.47%となりました。月末時点のキャッシュ比率は前月とほぼ変わらず9.50%でした。

上昇に寄与したのはモラント・フジ・イールド（騰落率+3.99%）、Nasdaq100 ETF（同+9.77%）などでした。一方、下落の寄与が最も大きかったのは、SBIネクストジャパン（騰落率▲5.04%）でした。10月中の売買はチカラ・インド・ファンドや米国ETFを一部追加購入しました。一方、モラントをはじめ日本株式の割合は減りました。今月はドル円など大きく円安に推移したことによるポートフォリオへの影響度は約+2.5%でした。月末時点の外貨建て資産は全体の46%ですが、一部、為替ヘッジにより外貨建てリスクは実質39%となっております。

大統領選挙のイベントを見詰め後、調整があれば追加していきたいと思っております。

### 基準価額と純資産総額の推移



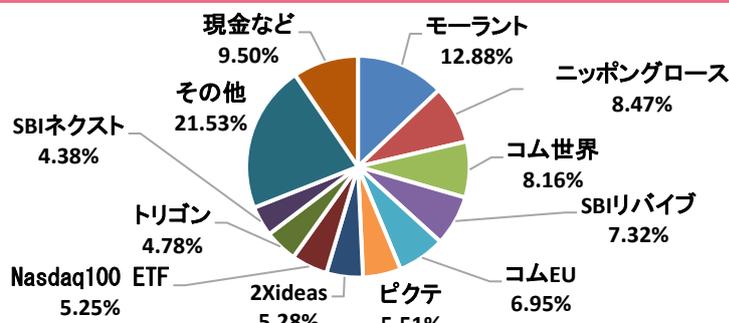
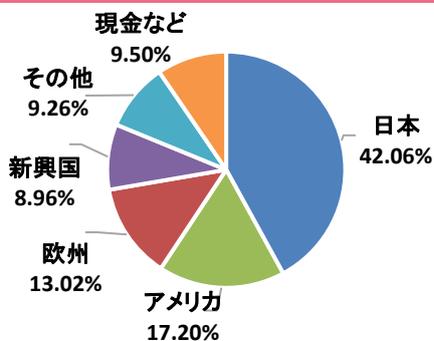
### 組み入れファンドTOP5 基準価額の月比

モラント	3.99%
ニッポングロース	-0.01%
コムジェスト世界	2.31%
SBIリバイブ	-2.77%
コムジェストEU	-1.36%

### コードモファンド概況

基準価額	24,995円	信託期間	無期限
純資産総額	11,163百万円	決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)
設定日	2013年4月15日		

### 資産構成比率（組入ファンド全20本）（左：国別、右：ファンド別）



### 期間別騰落率（%）

1ヵ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	10年	設定来
0.95%	-0.65%	1.47%	20.26%	6.01%	39.79%	116.61%	149.95%
					(複利年率)	(複利年率)	(複利年率)
					(6.92%)	(8.03%)	(8.25%)

### ファンドにかかわる費用

運用管理費用  
(信託報酬)

年率1.10% (税抜き1.0%)

組み入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.75±0.5% (税込/概算)

# 浪花おふくろファンド

## じっくりどっしり長期運用

### 【10月の運用コメント】

基準価額は月間で▲0.46%となり、年初来で+13.56%となりました。月末時点のキャッシュ比率は11.59%となっております。

上昇に寄与したのはコムジェスト世界株式（騰落率+2.31%）、2Xideasファンド（同+5.06%）などでした。10月中の売買ではコムジェスト・エマーシングを追加購入し、一方、日経平均やTOPIX ETFを合計5%売却し日本株式の割合を減らしました。

今月円安に推移したことによるポートフォリオへの影響度は+2.3%でした。月末時点の外貨建て資産は全体の46%ですが、一部が替ヘッジにより外貨建てリスクは実質38%となっております。

引き続き、今後調整があれば追加していきたいと思っております。

### 基準価額と純資産総額の推移



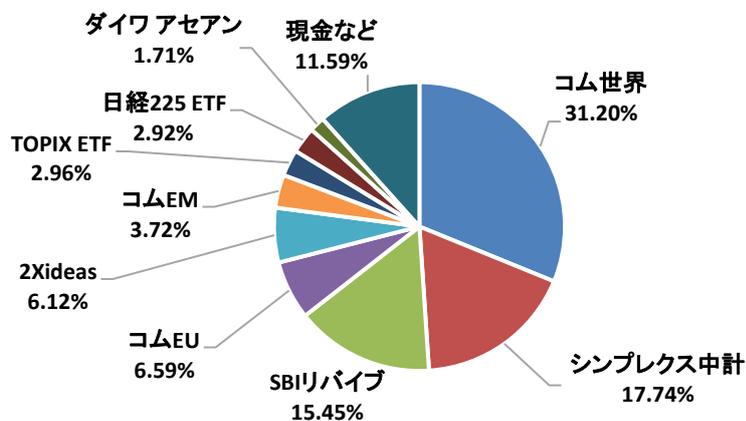
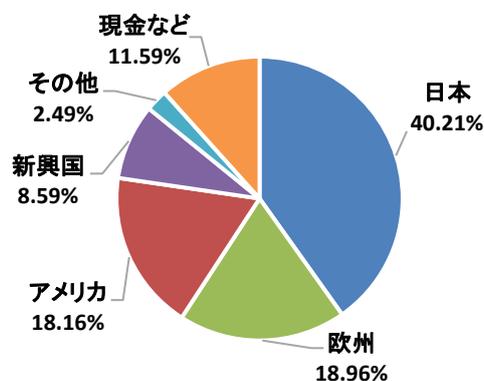
### 組み入れファンドTOP5 基準価額の前月比

コムジェスト世界	2.31%
シンプレクス中計	-2.12%
SBIリバイブ	-2.77%
コムジェストEU	-1.36%
2Xideas	5.06%

### 浪花おふくろファンド概況

基準価額	30,871円	信託期間	無期限
純資産総額	1,915百万円	決算日	毎年3月3日
設定日	2008年4月8日		(休業日の場合は翌営業日)

### 資産構成比率（組入ファンド全9本）（左：国別、右：ファンド別）



### 期間別騰落率 (%)

1ヵ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	10年	設定来
-0.46%	0.17%	3.53%	22.11%	11.43%	48.43%	122.27%	208.71%
					(複利年率) (8.21%)	(複利年率) (8.31%)	(複利年率) (7.04%)

### ファンドにかかわる費用

運用管理費用  
(信託報酬)

年率0.99% (税抜き0.9%)

組み入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.65±0.5% (税込/概算)

### コモファンド・浪花おふくろファンドにかかわる共通のその他費用・手数料

信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建て資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

設定・運用・販売は株式会社パリティアセットマネジメント／金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2727号

※比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。



# ヴィンテージになれるかもツアー4 奥出雲

2017年から始まった「ヴィンテージになれるかもツアー」、ジュネーブ、パリ、奥出雲と続き、コロナ禍を経て、今回再び「奥出雲」ということになりました。二泊三日の内容の濃いツアーで、いろんなサプライズもありました。ここで一部をご紹介します。

前回と違うのは、すでに日本の原風景「奥出雲」にも訪日外国人観光客が徐々に増えてきているので、参加人数を21名にせざるを得ませんでした。

## 「砂の器」記念祭

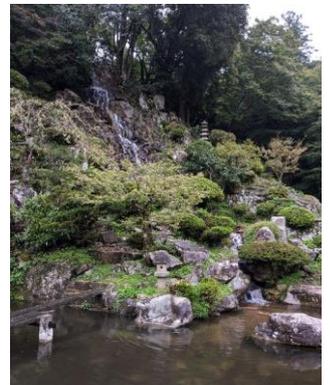


今回のツアーの一つの目的が松竹映画公開50周年、TBSドラマ放映20周年記念「砂の器記念祭」に参加すること。奥出雲へは空路で出雲、または米子空港に着き、車で1時間ほどかけていくのですが、今回のこのイベントが奥出雲の亀嵩（カメダケ）小学校で行われるので、岡山からJR伯備線特急やくもで生山駅まで行きそこから貸し切りバスで直接、記念祭会場に向かいました。土砂降りの雨の中、到着した、廃校が決まっている亀嵩小学校の駐車場（校庭）は、車で埋まり、600の方が集まる会場は活気に満ちていました。「砂の器記念祭」のメインイベントの一つが福澤監督（TBSの有名監督、「砂の器」TV版、「半沢直樹」シリーズ、「下町ロケット」「ドラゴン桜」「VIVANT」など）へのインタビューとして登場したのが、さっきまで我々を中型バスで生山駅まで迎えに来てくれた宇田川さん（奥出雲多根自然博物館館長、50年前の「砂の器」から奥出雲への映画ロケ誘致を手掛け、福澤監督とも長い付き合い）なのでびっくりです。福澤監督も宇田川さんに強引に誘われ、一度、来てから奥出雲のとりこ（特に食べ物がおいしい、人がいい）になり、以降のドラマ、映画などのロケ地に多用しているとのことでした。福澤さんの一言一言に奥出雲愛があふれていました。



## 「VIVANT」の櫻井家

そのあと、今回、福澤監督作品「VIVANT」のロケ地となったタタラ製鉄で財を成した櫻井家を訪れました。広大な敷地に資料館と旧住宅があり、現在、松江市にお住いの櫻井家第14代ご当主もわざわざ来ていただいて、直接ご案内をいただき、ツアーメンバー一同大感激です。写真で見てもわかりますが、この方が「ご当主」と説明しなくても、圧倒的な存在感です。このお屋敷が、ドラマ「VIVANT」の中では、主人公と世界的テロリスト組織テントの首領のルーツという設定で「テント」の紋章が櫻井家の屋根に合成されていました。



松平不昧公の来訪に向け造った滝のある庭園



その夜、奥出雲の有名温泉旅館「玉峰山荘」に宿泊となりました。老舗の温泉旅館で夕食を楽しんだあと、静まり返ったロビーを通ると4人の方が何やら打ち合わせ。その一人があまりにも目立って大きい福澤監督でした。あまりの迫力に、怖気づきましたが「福澤監督ですね。記念祭に参加させていただき、感動しました。宇田川さんの知り合いです！」まで言ったら、にこやかに「一緒に記念写真撮りましょう。」ということに。結局、宇田川さんや奥出雲町長も合流しての集合写真になりました。



## 志學荒神社

二日目、朝食後、奥出雲多根自然博物館近くの志學荒神社に。この神社は、メガネの三城（現バリミキHD）の創業者 多根良尾氏（バリミキHD多根幹雄会長の祖父）が、子供の志学・立志の神様「佐白三寶荒神」を再興した神社で、秋の大祭に際し、ツアー参加者全員でお参りました。



## 絲原家

そのあと、タタラ製鉄で財を成したもう一つの旧家絲原家へ向かいました。絲原家では、タタラ製鉄について、模型などをはじめさらに具体的な展示がされていて興味深かったです。説明して下さったのは、絲原家16代目。ちょっと遅れて登場されましたが、後でHPを確認すると「絲原家16代目の案内は当分の間中止」となっているので、特別に催行していただいたのかもしれませんがね。住宅の中に入ると圧倒的な大きさの梁に支えられた、部屋数が40室もある巨大な和風建築、完成時は藁葺きだったのが、途中で瓦葺に改装し、荷重が変わったので一部の襖、引き戸などが動かなくなったなどの裏話も、面白かったですね。

絲原家住宅の豪華な大広間で豪華な昼食をいただきました。



## たたらと刀剣館

次に近くのたたらと刀剣館へ。糸原家の資料館よりもさらに実際的なタタラ製鉄の技法の説明、体重をかけて鞆（ふいご）を動かす仕掛けなどを体験できる模型などもありました。奥出雲では、今も刀剣を作るための磨き抜かれた鉄材「玉鋼」をタタラ製鉄で生産していて、ここから全国の刀鍛冶に材料として供給されているということです。刀剣館では、現役の刀鍛冶の方が、実際の仕事場で説明してくれました。本物の刀をいきなり持たせていただきましたが、私は少し固まりましたね。人それぞれ表情が違います。



## 奥出雲多根自然博物館

この後、奥出雲多根自然博物館に戻り、学芸員の案内で展示を見学させていただきました。一般の親子連れの宿泊客でほぼ満室のようでした。



夕食は、博物館最上階のレストラン「さじろ」で。新しく首都圏から奥出雲に移住してこられた新任のフードプロデューサーが準備してくれた、地元食材を使った豪華なお料理で宴会となりました。



## 出雲大社

最終日は、奥出雲をバスで出発、まず出雲大社に向かいます。途中、稲佐の浜で、打ち寄せる波が運んできた砂を採取する儀式をし、出雲大社に向かいます。

打ち寄せる波から砂を取るというのは、なかなか難しく靴がずぶ濡れになりました。皆さん大騒ぎでしたね。今まで数回、出雲大社に参拝しましたが、初めての経験でした。

この拝殿の後ろにある小さい社に、取ってきた砂を奉納し、交換に用意されている砂を自宅に持ち帰って家の敷地や田畑にまいて清め、神様のご加護をいただく正しい参拝の仕方ということで、出雲大社のご利益度が高まりました。



## 堀川遊覧

次は、松江城に向かい堀川遊覧。最近 TV でも紹介されてましたが、松江城の周りの堀を 10 数人乗りのエンジン付きの小舟に乗って 40 分くらいでお堀を一周します。木々の向こうに小さく天守が見え、反対側には穏やかな松江の街並みが見え、堀の幅も、広く狭く変化し、また、下をくぐる橋の水面からの高さもギリギリなので、橋によっては、船の天蓋を低く折りたたんで、乗客も体を折り曲げて進んでいきます。こんな感じが何とも言えない情緒があって、大好きになりました。



## 小泉八雲記念館

最後の訪問は小泉八雲記念館、2016年にリニューアルしたそうで、大変見やすいおしゃれな施設でした。来年後半のNHK朝の連ドラ「ばけげん」は、小泉八雲の奥様 小泉セツが主人公とのことから、来場者も急に増えたようです。小泉八雲本人は、結局日本語は苦手なままで、執筆なども英文で、セツさんが日本語訳をしていたようです。資料も英文が多く、外国人観光客に人気で何台かの大型バスで来てました。



今回は、2泊3日で、ゆったりしたスケジュールのはずでしたが、結局、盛りだくさんになってしまいました。参加の皆様、全員大満足のようでした。

神話の里ともいわれる奥出雲、1000年以上の歴史を持つタタラ製鉄を中心とする循環型経済が地域の豊かさをもたらしてきたようで、バスで各地を回っている間も家々の屋根瓦のつやのある美しさが話題になるほどでした。また行きたいですね。

(関連番組 NHK「新日本風土記「奥出雲」BSP4K 11/11PM9:00～、BS 11/12PM8:00～放送予定)



パリキアセットマネジメント  
代表取締役社長  
磯野 昌彦

## 転換期を迎える日米政治



Wikipedia より

激動の選挙シーズンが日米で終わりを迎えました。日本では与党の過半数割れ、米国ではトランプ氏の勝利と、両国とも政治の大きな転換点となる結果が示されました。この政治変動は、両国の将来にどのような影響をもたらすのでしょうか。

日本の衆院選挙で最も注目すべきは、議席を4倍に増やした国民民主党がキャスティングボートを握ることになった点です。一見すると政局の不安定要因と捉えられがちですが、実は日本経済にとって思わぬ好機となる可能性を秘めています。

なぜでしょうか。過去30年の日本経済低迷の根本的な要因の一つは、経済環境に逆行する政策の連続でした。バブル崩壊後、民間部門では土地や株式などの資産価値が急落する一方で、借金は残ったままという苦しい状況に陥りました。こ

の時期に必要なのは、政府が積極的に需要を創出し、信用収縮の悪循環を断ち切ることでした。

しかし、実際に取られた政策は真逆のものでした。1997年の消費税増税を皮切りに、政府は財政再建を最優先。さらに小泉政権期には、本来インフレ下で有効な規制改革をデフレ下で断行するという、状況にそぐわない政策が推し進められました。その後のアベノミクスでいったん息を吹き返した経済も、二度の消費税増税でその効果が相殺されてしまいました。

そして今、日本はようやくデフレ不況からの脱却の機会を迎えています。米中対立やウクライナ情勢を背景とした世界的なインフレ、円安の進行、さらには団塊世代の労働市場からの退出による人手不足など、様々な要因が重なって賃金上昇の環境が整いつつあります。

この絶好のタイミングで、国民民主党は「手取りを増やす」という明確な政策を掲げています。特に注目すべきは、「103万円の壁」を178万円に引き上げる提案です。これが実現すれば、時給アップや、不正規労働者の正社員化が推進し、年収の継続的な上昇が国内経済の活性化をもたらすことになるでしょう。そして財政再建にも道筋をつけることになるのです。

このように増税派の自民党の石破氏と立憲民主党の野田氏をリーダーとする両党が過半数に届かない今回の選挙結果は、このチャンスを活かせる絶好の政治環境を作り出したと言えるでしょう。

一方、米国の大統領選では、日米のマスコミの予想を大きく覆してトランプ氏が圧勝しました。特筆すべきは、選挙期間中から結果確定に至るまでの既存メディアの報道姿勢です。アメリカはもちろん日本の主要メディアの多くは、明らかな趨勢にもかかわらず、トランプ氏の優勢を認めることに極めて慎重でした。

この現象は、米国の政治構造の本質を如実に表しています。政治献金に制限のない米国では、軍需産業を筆頭に金融・製薬・エネルギー・食品などの大企業群が、潤沢な資金力を通じて政治とメディアの両方に強い影響力を持ってきました。その結果、表面的には二大政党制による民主主義を標榜しながら、実質的には国や国民の利益よりも企業群の利益を優先した政策決定が横行するという構図が定着していたのです。

しかし、この構造に大きな変化をもたらす存在として、トランプ氏とイーロン・マスク氏という二人が台頭してきました。特にマスク氏は、ツイッター（現X）の買収を通じて、既存のメディア支配構造に真っ向から挑戦。情報発信の新たなプラットフォームを確立しつつあります。

今回のトランプ陣営には、優秀なスタッフを確保できず政権運営に苦労した前回とは異なり、イーロン・マスク氏をはじめとする優れたスタッフチームを編成できそうです。これにより、政権運営の実務面でも、より実効性の高い体制が期待できます。

特に期待されるのは、国際関係の改善です。バイデン政権下で深刻化したウクライナ紛争やガザ地区の問題など、国際的な緊張緩和に向けた具体的な動きが出てくる可能性が高まっています。

両国の選挙結果は、これまでの政治・経済の仕組みが大きく変わる可能性を示唆しています。波乱はあるものの、ようやく硬直した現状を打破できるチャンスが広がる可能性があります。今後の展開に期待したいですね。



(株)パリミキホールディングス  
代表取締役会長  
多根 幹雄

## 「ビギナーのためのお金のレッスン」

「ビギナーのためのお金のレッスン」というセミナーシリーズ2回目を開催致します。2019年の1回目にもご登壇いただきました、金融コンサルタント、経済評論家の岩本沙弓（いわもとさゆみ）様に、専門の為替を軸に世界の行く末について優しくお話しいただきます。後半は、代表取締役社長の磯野が「あいのり投資」について、またファンドマネージャーの宇野が運用の現状についてお話をさせていただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

〈大阪〉 11月29日(金) 18:30～20:30

参加費用等について

定員：70名 参加費：無料  
※交流会にご参加の場合は3,000円

会場  
大阪市中央公会堂  
大阪市北区中之島1丁目1番27号  
(大阪メトロ「淀屋橋」1番出口 徒歩5分)  
(大阪メトロ「北浜」26番出口 徒歩10分)  
(京阪電車「中之島線」1番出口 徒歩1分)

### ① 『世界の今とお金の話』



金融コンサルタント経済評論家  
岩本沙弓氏

1991年3月東京女子大学文理学部卒業後、日本・アメリカ・カナダ・オーストラリアの金融機関にてバイス・プレジデントとして国際金融取引(トレーディング業務)に従事。銀行在籍中、日本経済新聞社発行のニューズレターに7年間、為替見通しを執筆、そして青山学院大学大学院国際政治経済学科修士課程修了。

また、金融機関専門誌『ユーロマネー』誌のアンケートで為替予測部門の優秀ディーラーに選出。執筆活動の他、参議院特別委員会に有識者参考人として出席。学術講演会、通信社主催の講演活動では主に国際金融市場における日本の立場を解説。

現在は、時事通信社の論説サービス「コメントライナー」、時事通信社の「金融財政ビジネス〈Vox Femina〉」、共同通信社「経済ウイークリー〈にっぽん診断〉」などの執筆連載の他、参議院特別委員会・調査会、学術講演会、日本全国の新聞社主催の講演会等で国際金融市場における日本の立場や税制問題を中心に解説。パリミキホールディングス社外取締役。

### ② 『“あいのり投資” お金の不安から解放される究極の投資術』



代表取締役社長  
磯野昌彦

さわかみ投信投資顧問のスタートアップメンバーとしての2年間の経験他、グループ企業のIR担当を10年間にわたって担当。評価される企業側として、ファンドマネージャーやアナリストから厳しい質問を受ける立場でしたが、当時、「この人は手ごわい」「この人は勉強不足」などと、各人を個別評価することで、どんなファンドマネージャーやアナリストが優秀かを見極める力がつきました。今は逆の立場で厳しい目でファンドを評価しています。



ファンドマネージャー  
宇野隆一郎

- ・1988年：富士銀行（現みずほ銀行）に入行
- ・2004年：ドイツ銀行のプライベートバンキング部門に転職。その後独立し、ファミリーオフィスの運用を担当
- ・2009年：シンガポールに拠点を移し、ファンドに限らずあらゆる金融商品の運用を行う

ファンダメンタル同様、時間と価格の分析も行いながら大局観を重視。それに見合った旬なファンドのアップデートを常に努めております。

## ルーメン・ベトナム・ファンド セミナー

〈東京〉 12月6日(金) 18:30～20:00

参加費用等について

定員：対面【25名】 ネット中継【30名】  
参加費：無料 ※交流会にご参加の場合は2,000円

会場

パリミキアセットマネジメント 会議室  
東京都中央区銀座二丁目8番4号 泰明ビル2F  
(ビル1階はカフェ・ベローチェです)  
(東京メトロ有楽町線「銀座一丁目駅」11番出口 徒歩1分)  
(東京メトロ銀座線、丸ノ内線、日比谷線「銀座駅」A13番出口 徒歩4分)



※マリオ・ティンパナーロ氏はネット中継での参加です。

AQUIS Capital  
ファンドマネージャー  
マリオ・ティンパナーロ氏

- ・1987年：チューリッヒ・ジュリアス・ベア銀行で日本の転換社債とワラントのマーケット・メーカーとしてキャリアをスタート
- ・1992年：ジュリアス・ベア銀行でデリバティブ部門を立ち上げる
- ・2006年：ヴェルト・ファイナンスでポートフォリオ・マネージャーを務める
- ・2020年：AQUIS Capitalに入社

ルーメン・ベトナム・ファンドを立ち上げ、現在ポートフォリオ・マネージャーとして活躍。当ファンドはベトナムファンドで最初のUCITS認定を受ける。

## ファンド購入・解約（換金）申込時間の30分延長について

2024年11月5日（火）より東京証券取引所の株式取引時間が30分延長したことに伴い、当社においても、ファンド購入・解約（換金）申込時間を15時30分までに延長いたしました。

## お客様マイページのご利用について

2024年10月1日（火）より電子交付サービスをお申込みいただいているお客様（主に月次レポートをメールでお受取りいただいている方）は、自動的にマイページを作成しております。

お取引に関する書類等は、マイページに電子交付され郵送されませんので、必ずマイページにログインしてご確認ください。

## 年内に解約代金の受取りを希望される方へ

ご解約受付日：2024年12月23日（月）15：30受付分までとなります。

約定日：2024年12月25日（水）・入金日：2024年12月30日（月）

### ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。

投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者（投資者）の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

### ファンドにかかわる費用

当社が扱う投資信託に、購入・換金手数料および信託財産留保金はありません。

### 当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は株式会社パリミキアセットマネジメントが運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当社でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料中に示された数値は、作成基準日現在において入手可能なデータを参照し、弊社にて計算しております。

### 毎月つみたてスケジュール

次回引落日は、**12月5日（木）**です。

2024年12月分

金額変更・中止・再開締切日・・・**11月22日（金）**

2025年1月分

新規・口座変更締切日・・・**12月3日（火）**

※毎月つみたてサービスの金額変更・中止・再開については、お電話・マイページ上（再開を除く）でも承っております。

再開につきましては、書類でのお手続きとなりますので、お電話・マイページ上・ホームページ上にて用紙をご請求ください。



株式会社パリミキアセットマネジメント  
（受付時間：平日9時～17時）  
お客様専用通話料無料ダイヤル:0800-5000-968  
E-mail: [support@pmam.co.jp](mailto:support@pmam.co.jp)